

会計室決算の概要

1 決算総括

会計事務については、引き続き公金の安全確実かつ有利な管理運用を行うとともに、研修や会計検査の実施、通信の発行等を通して、市全体の会計事務の向上に取り組んだ。

また、公募により選定し、平成 28 年度から新たに指定金融機関に指定された三菱東京 UFJ 銀行の選定時提案内容の実施状況について確認を行った。

物品センターについては、前年度からの耐震改修工事を継続して実施し、本市地域防災計画における拠点備蓄倉庫としての機能強化を図った。

決算は、歳入においては利率の低下により預金利子収入が当初見込みを下回ったことなどから収入減となり、歳出においては経費節減や入札により不用額が生じた。

今後も、各所属等において、適正な会計事務が遂行できるよう周知・指導に努めるとともに、引き続き事務経費の経費節減に努める。

2 重点取組の実績

(1) 公金の安全確実かつ有利な管理運用

取組名	実績
公金の適正な管理運用	・公金管理運用会議を開催し、最新の金融情勢を鑑み、公金の安全確実かつ有利な管理運用を実施

(2) 会計事務の適正な執行の確保と効率化

取組名	実績
効率的かつ厳格な審査・支払の実施	・法令等に則り支出審査を厳格に行うほか、総務事務センターへの審査の一部委任等により効率化を図り、早期支払を推進
適正な会計事務の周知・指導	・会計検査の実施（全所属を対象としたチェックシート方式による検査、実地検査、コンビニ収納の検査） ・財務会計実践研修の実施 ・会計事務の手引や通知等の周知 ・かいけい通信の発行

(3) 指定金融機関選定時提案内容の履行確認

取組名	実績
選定時提案内容の履行確認	・実施状況報告の徴取及び関係部局への確認

(4) 物品センターの耐震改修

取組名	実績
物品センター耐震改修の推進	・物品センター耐震改修工事の実施

(単位:千円)

3 会計室所管の決算額

(1) 一般会計

ア 歳入

款	予算現額 A	収入済額 B	翌年度繰越額 C	差引 A-B-C
国庫支出金	3,509	3,509	-	-
財産収入	27,200	25,173	-	2,027
諸収入	6,800	3,285	-	3,515
計	37,509	31,967	-	5,542

イ 歳出

款項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
総務費	34,800	29,348	-	5,452
総務管理費	24,200	18,821	-	5,379
総務施設整備費	10,600	10,527	-	73

4 会計室主要施策の概要

当初予算額の下段の括弧書きは、補正予算額、前年度繰越額、流用・移用等の予算の増減額、不用額の下段の括弧書きは、翌年度繰越額で、いずれも外数です。

項 目	主 要 施 策 の 概 要	当初予算額(A) (増減額(B))	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	不用額 (F=C-D-E) (翌年度繰越額(E))
		千円	千円	千円	千円
	一般会計合計	24,200 (10,600)	34,800	29,348	5,452
(1 公金取扱手数料)		7,500	7,500	6,006	1,494
公金取扱手数料	郵便振替受払手数料など	7,500	7,500	6,006	1,494
(2 会計事務)		16,700	16,700	12,815	3,885
会 計 事 務	金銭, 物品会計事務	16,700	16,700	12,815	3,885
(3 施設整備)		-	10,600	10,527	73
施 設 整 備	物品センター耐震改修工事	(10,600)	-	10,527	73
		(10,600)	10,600	10,527	73